

JCWA

NEWSLETTER

Vol.01

日本カーラッピング協会 会報誌
[JCWAニュースレター]

発行/編集制作 一般社団法人日本カーラッピング協会 広報部
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-2-1 喜助内神田3丁目ビル402号 FAX: 03-6206-4986

2024年7月発行

悲願の初優勝!

アーネストワークス 田中文太代表

第3回 全日本PPF選手権 報告



CONTENTS

[特集] 第3回 全日本ペイントプロテクションフィルム選手権

◎現地レポート ◎優勝者インタビュー

▶新会員紹介

▶[NEW&売れ筋!] 注目のプロツール

▶[イベントレポート] IAAE2024 & JCWA講習会

▶[理事からのメッセージ] #1 荻谷伊会長

[現地レポート]

第3回 全日本 ペイントプロテクションフィルム 選手権

会期：6月12～14日
大阪南港ATCホール
@SIGN EXPO2024



優勝したアーネストワークス田中文太選手（東京）



募集早々に高い意欲とともに申し込んだ 40 人の選手たち

安定して実力発揮する上位陣 田中文太氏が悲願の初優勝

JCWAでは6月12～14日、SIGN EXPO会場内で3回目となる「全日本ペイントプロテクション選手権2024（PPF選手権）」を開催しました。4月中旬の申込開始からわずか2週間足らずで40人の出場枠が埋まり、PPF施工者の高い意欲が開幕前から窺えた今大会。3日間全6ラウンドにおよぶ戦いをアーネストワークス（神奈川県川崎市）田中文太選手が制し、優勝候補との呼び声もありながら途中敗退した1・2回大会の雪辱を晴らしました。

選手権は、R1・R2の合計点上位24人が2日目に、R3・R4の合計点上位8人が3日目に、3日目R5の上位4人が決勝に進む勝ち抜き戦。実車への施工（R4のアフターカット競技を除く）を通じ、その仕上がりを理事3人を主とするJCWA審査団が厳正にジャッジ。優勝経験者2人を含む4人で争われた決勝戦は、わずか80分でフロントフル（ボンネットはバルク施工）という厳しい競技課題ながら4人ともミラーまで含めて一通りの施工を完遂。中でも一際綺麗なボンネットなど、トラブルを最小限に押さえて施工を終えた田中選手が激戦を制しました。

優勝した田中選手個人もさることながら、今大会が目立ったのが「ショップ」単位での技術力です。田中選手が営むアーネストワークス（協業パートナーで前回優勝者の磯選手、井岡選手含む）や、初代優勝者で前回・今回も準優勝を飾った井上睦基選手擁するP-Factoryの2チームだけで決勝戦が争われ、1・2日目の競技結果も上位を独占。ショップ単位で安定した技能を示すとともに、PPF選手権が回を重ねるごとに「一発本番の特殊環境という要因だけでは覆らない“日頃のPPF施工技能の地力”が表れる大会」とも見える第3回選手権となりました。

Pick Up!

明暗別れた審査のポイント！ 一丁目一番地の技術「カッティング」

これまでのPPF選手権と代わり、3回目にして新たに導入されたのがカッティング技術の審査。ラウンド5、決勝戦のボンネットはバルク施工で行われ、また2日目ラウンド4の純粋にカッティング技術を競う新種目「アフターカット」では、車両への貼り付けとはまた異なる光景と漂う緊張感に、観戦者も新鮮な眼差しを向けていました。

フィルムカットの正確性を問う競技ですが、絶対NGなのが下地への傷入れ。もちろんカーラッピングの施工でもNGで、海外でもそれが確認できた場合は採点外＝失格となる競技が多数。装飾を主目的とするラッピングでもその水準で、塗装保護を主目的とするPPFではなおのこと傷入れは避けるべきトラブル。実サービスでも「どんなに面を綺麗に貼っても1つの傷入れで無に帰す」という点では、まさにPPF施工における“一丁目一番地の技術”です。

今回、ラウンド4で初導入したアフターカット競技では、R3・R4の合計点に対して比較的少ない採点配分もあって大きく順位が入り替わることはありませんでした。ただ、競



技後のフィルムには剥離ライナーやその下の下紙にまで刃が混入した形跡もちらほら。また、審査が大幅に長引いた決勝でも、カッター傷を巡る協議が裏側で繰り返され…。

プレカット施工においても、競技で要求されたバンパー・センサー部の処理などをはじめ、高品質な仕上がりに適切なカッティング技術は欠かせません。今後、PPF選手権でも貼る技術と同様にカッティング技術の精巧さも競い合える競技内容を検討していきたいと考えています。



準優勝の P-Factory 井上睦基選手（神奈川）



3位の P-Factory 松下祐也選手（神奈川）



4位の Rocky shore 磯真仁選手（東京）

急成長する若手施工者たち 一層の研鑽に他社交流呼びかけ

安定して高い技能水準を示す上位陣のショップ・熟練者たちの一方で、目覚ましい成長ぶりを見せたのが浅い施工歴や若手の施工者たちです。前回大会では初戦敗退だったけど2日目進出を果たした選手や、規定時間内で貼り終えられず失格になったけど今回は規定メニューは消化できたという選手など、出場選手の技能レベルは全体的に向上。主審査を務める鈴木理事、井上理事も「上位陣も大会慣れなどでレベルが上がってきているが、それ以上

に若い人や成績下位だった選手たちが急成長している」と異口同音。今大会では施工歴1年未満の選手（中には2～3カ月程の選手も！）も少なくありませんでしたが、皆様ともに制限時間内で課題メニューを完遂していました。

技術向上を続ける上位陣に、急成長で後を追う若手施工者たち。開会式で苅谷伊会長は「3月のWordl Wrap Masters世界大会で3位になった川上選手も、1位のフィンランド、2位のメキシコの選手も全て20代。世界の技術者の若返りが進んでいる」と世界のフィルム施工ビジネスの潮流に触れ、年代問わず施工技術のトップに立てる可能性を示唆。その上で

「絶対に諦めないで最後までやりきってほしい」とエールを送り、閉幕式でも「全選手が全力で戦い切って素晴らしかった。決勝の4人は20・30代で、活躍する若手の姿に我々の業界の明るい展望が見える」と統括しました。また続けて鈴木理事も、「自分のショップ以外の環境に積極的に出向き、人によって異なるそれぞれの貼り方、道具などを見てほしい。水が使えない、照明が暗いなど、その場の環境に対応できる施工を身につければ必ずと上達する」と、一層の技術研鑽を鼓舞する言葉とともに第3回ペイントプロテクションフィルム選手権を締めくくりました。

活躍する女性インストラーたち

今回は全40人のうち女性が4人出場。

2人は2日目、2人は3日目まで残り、技術面でも高い存在感を示しました！



▷初出場ながら5位入賞を果たしたバンサーフェス東尾有芽選手。XPEL講習トレーナーという立場ながら、他メーカーフィルム製品を使う競技ラウンドも見事勝ち進み、敢闘賞にも選ばれた



△準優勝で悔し涙を流したP-Factory井上睦基選手。ただ、優勝1回、準優勝2回と出場選手の中でも頭抜けた成績を残しており、ライバル選手も“圧倒的”とつい口にする程の実力者



△北海道札幌市から駆けつけたシーズ鎌田沙知選手。第1回、2回大会ともに初日で敗退だったが、今年は意気込み通り前回順位を上回り、2日目ラウンドへの進出を果たした

Pick Up!

JCWAをフル活用 急成長する最年少女性インストラー

今大会もフィルムメーカー・サプライヤー様をはじめ様々な企業にご協賛いただきました。改めて感謝申し上げます。中でも今回、新規でスポンサーしていただいた「しゃかりき」様は広島県の施工ショップで、今年JCWAへ加盟いただいた新会員様。大会スポンサーも施工店（JCWA理事除く）としては珍しいケースです。

しゃかりき様は今大会、2人の施工者が選手として出場。1人は施工歴2ヶ月とまだまだこれからの施工者で、結果は初戦敗退となりましたが、施工自体はしっかりと貼り終わりました。そして、今大会で躍進を見せたのが若干19歳で施工歴3年（出場時点）の丹下萌生選手。初戦敗退した第2回大会からわずか6カ月、今大会では見事初戦突破して2日目に進出。残念ながらラウンド3でバンパー施工が未完（＝採点なし）となり2日目敗退となりましたが、採点上は3日目進出者に迫る程の高いクオリティを披露しました。

この丹下選手、自社での施工業務だけでなく外部に出向いての



技術研修にも積極的で、22年には今大会5位に輝いた東尾有芽選手在籍のバンサーフェスに、今年3月には今大会準優勝の井上睦基選手在籍のP-Factoryにそれぞれ出向って技術講習を受講。

P-Factoryでの受講は第2回PPF選手権に参加した際の井上選手の活躍や懇親会での情報交換も後押しとなったようで、いずれも“日々の実務での課題を解消する実践的・高度な講習”を通じてスキルアップを果たしています。

そしてその傍、今年3月のJCWA中国地方講習会では、ショップを会場として3日間お貸し出しいただき、今大会でもスポンサーをお申し出いただくなど、非理事会員でありながらJCWA活動へも惜しみなくご協力いただいています。JCWA会員各社のネットワークを巧みに活用して技術・サービス品質の向上を図ると同時に、活動運営にも積極的にご協力いただき、協会運営にとって大変ありがたくまたJCWA活動を有効活用している会員様好事例としてご紹介させていただきました。

Winner's Interview

三度目の正直で 有終の美を飾った 若きショップ経営者

Q.優勝おめでとうございます！

ありがとうございます。本当に誰よりも自分自身がこの結果に驚いたと思います。決勝前の第5ラウンドまでP-Factory井上睦基さんなど上位だった選手たちとずっと大きな差をつけられていて、過去の大会（第1回は2日目、第2回は3日目4Rで敗退）も含めて「競技結果と実務の品質は違う部分もあり、実務は誰にも負けない」という想いもありました。今回も仲間との「必ず優勝する」という約束を果たすのが大きなモチベーションで、「優勝したから実務もトップ」とは今も捉えていません。

Q.競技と実務はやはり違う？

特に制限時間は、私も含め“作業は遅目だけど品質には自信アリ”なタイプには少し不利に働く要素かなど。今回の決勝もバンパー施工の時点で他の選手に比べて遅れていたのですが、仲間の声掛けと会長の「最後まで全力で」のメッセージが吹っ切るきっかけとなり、優勝に導いてくれました。

でも、大会から少し経った今振り返ると、普段の施工技能と競技結果がリンクする部分も小さくない、とも思っています。制限にかかる特殊環境下で普段できないことができる訳がなく、過去3回の結果を見ても上位の方々は安定した結果を納めていて…。

私自身は、ショップ経営に集中する、社員の出場を優先する（※次大会から1社の出場選手数を制限予定）といった理由もあり、今回の出場を最後にすると前から決めていました。ただ、自社の技能水準を確かめる、施工技術の向上を図る機会として競技会はとても有意義で、今後は仲間にショップの看板を託して戦ってもらいます。

また、その貴重な機会を運営してくださっている協会の方々に改めて感謝申し上げます。加えて、回を重ねるごとに“普段の技能レベルが結果に反映されやすくなる”とも思いますので、例えば第1回大会が不本意な結果で出場しなくなってしまった方など、業界のまだ見ぬ実力者の方々にももっと参加していただけたら面白いですね。



第3回全日本PPF選手権2024 優勝者：田中文太氏

神奈川県川崎市に本社、横浜市に第2工場を構えるPPF施工店「アーネストワークス」代表。2013年に大手ショップに入社してフィルム施工に携わり、18年に独立。21年に自社店舗をオープンした。現在29歳（大会出場時）

Q.普段の実務、事業について教えてください

現在、PPFを中心にボディコーティング、ラッピングといった施工サービスを主事業に展開。ほぼ9割を一般のカーオーナー様が占めています。実は3年程前まではディーラー様などからの請負が大半でしたが、トラブルリスクや施工作業にかかる負荷を考慮して方針を180度転換。自前・地道に続けたyoutubeによる情報発信が功を奏し、多くは首都圏の方ですが今では九州など遠方からもご用命いただいています。

Q.今後の展望は？

「フィルム施工専門店として日本一になりたい」との想いの下、日々様々な事業展開を模索中です。足元では、4月に横浜に第二工場をオープンし、施工できる台数を拡大しました。今後はラッピング施工やフロント専門のスタッフを新規に採用し、ショップの施工キャパシティを一層増強します。

また、youtubeなどを通じてメインの富裕層顧客以外の方々からも「PPFを貼りたい」というお声をいただき、PPFの裾野を少しでも広げるべく、23年から自社独自ブランド「Surface（サーフェイス）」というOEM製品の施工・販売を開始。施工では、プレカット施工限定でパネル際の追込みを浅く仕上げ、代わりにメインサービスの約7割の価格でご提供し、DIY向けにオンラインでのフィルムの切売もしています。

選手権で優勝しても日本一はまだまだ程遠く、最近でもカラーPPFをどう扱おうか、自社ウェブサイトをどうしようかなど悩みは尽きません。引き続き少しでも多くのカーオーナー様に満足いくフィルム施工を体験してもらえよう、選手権を通じて知り合った業界の仲間とも情報交換などを重ねつつ、技術研鑽とともに色々な自社サービスを模索していきたいです。

コメント寄稿

しゃかりき (法人名: Best One)

住所: 広島市安佐南区八木4丁目14-7
Web: <https://www.syakariki.co.jp>
事業: PPF・ラッピング・WPF/コーティング/カーフィルム/
ヘッドライトリペア/ガラスリペア/
事業者向けコーティング販売・講習など

Best Oneは、Detailing事業しゃかりきの英積でもあります。「全てにおいてしゃかりきに!」。そんな思いで13年前に立ち上げた個人事業から法人化8期目に突入。一重に多くの方々に支えられ現在に至っております。

お客様のお悩みに弊社の高い専門性と高度な技術が少しでもお役に立てばと、現在では各種施工事業のほか美容部門Salon

EMA、社会に弊社がどれほど恩返しができるのかと立ち上がった社会貢献事業FOXなどを運営。いずれもお

お客様のご要望にお応えしたいと立ち上がった部門で、従業員も6人の企業に成長させていただきました。

お客様のお車を綺麗に。お客様のコンプレックス、美意識に。次世代、命を守りたい。そんなことを一生懸命に考え行動し、儲けに捉われず人を見て手を取り合い共に成長する会社です。どうぞよろしく願いいたします。



コメント寄稿

C-BOX

住所: 富山県富山市豊若町3-9-21
Web: <https://c-box-ltd.com>
事業: PPF・ラッピング/コーティング/洗車/内装クリーニング/
下回り防錆/内装リペア/ホイールリペア...など

元々のカーコーティング業を拡張し、2年程前からラッピングやPPFを施工しているC-BOXです。コロナ禍以降、新車ディーラーから一般富裕層に顧客をシフトし、そのお客様からのご依頼で各フィルム施工業を開始。「技術を要するサービスをしたかった」との想いもあって始めたフィルム施工ですが、富裕層顧客のニーズに応えられることや地域的に施工店が少なくコーティング

専門店との差別化が図れたことなどもあり、今ではPPFを中心にご用命いただく件数も徐々に増やしております。

お陰様で忙しくさせていただいている一方、少し困っているのが業界の最新情報を収集しきれないこと。イベントや講習に出向くのが難しく、また地場の同業との繋がりも少ない中、情報・意見交換できる繋がりを持てたらと思入会いたしました。施工歴はまだ浅いですが、競技会ははじめ各種活動に積極的に参加させていただけたらと思います。何卒、よろしく願い申し上げます。



コメント寄稿

HI-TECH

住所: 長野県長野市若里1-23-18
Web: https://www.instagram.com/hi_tech_nagano
事業: 看板製作・取付/カーラッピング施工/デザイン制作/
各種印刷物製作/オリジナルグッズ製作...など

今年、地元長野で独立開業した永井と申します。以前は関東の看板系企業でラッピング施工に約10年携わり、今はラッピングのほか看板・印刷物製作、デザイン制作などに勤んでいます。

地元に戻ってきて直面したのが「ラッピング施工車が全然走っていない」という現実。裏を返せばまだまだ広がる可能性があるということで、これから地場のカーオーナー様にラッピング・PPF

を広げていきたい。そのためにも協会の皆様と交流を図り、様々な知見・技術を学ばせていただけたらとの想いで

このたび入会させていただきました。

何より私自身、クルマもラッピング施工も好きです。以前から出場したいと思っていたラッピング大会に今年こそはと思っておりますし、また直近ではカラーPPFが気になっており、触れられる機会があれば積極的に参加したいとも考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



NEW TOOLS [注目のプロツール] for PROFESSIONAL

賛助会員 会員No.順

▶インクジェットメディア

SLX (ARLON社製)



ニチエ

プレミアムキャスト塩ビ採用で寸法安定性に優れ、3次曲面への追従性も抜群。FLITEテクノロジー（粘着剤スライダブルエアフリータイプ）により施工時の位置合わせも簡単にでき、エア抜けも良く、加熱剥離により糊残りを最小限に軽減します。SLXサイズ：1371mm×45.7m/1524mm×45.7m
推奨ラミネート：Series 3270G / 3270M
※1524mm幅は3270Gのみ

▶[公式サイト](#)

▶インクジェットプリンター

UCJV330-160



ミマキエンジニアリング

高品質、高生産、多彩なアプリケーションに対応するMimaki UV フラグシップモデル。フラグシップに相応しい高画質・高生産性に加え、Mimakiだからこそできる先進のUV技術を搭載。

▶[公式サイト](#)

▶ラッピングフィルム

ORACAL 970RA



オラフォルジャパン

ORACAL 970RAは多層プレミアムキャスト製法で製造されているカーラッピングフィルムで、最高レベルの寸法安定性・耐久性と塗装並みの質感を持ち合わせています。塗装と見間違えほどの光沢感、しっかりとしたマット感が、目の肥えたカーオーナーから支持されています。

▶[公式サイト](#)

▶ペイントプロテクションフィルム (PPF)

グロスPPF290-S75+



従来品 (PPF290-G75) と比べ、糊の初期粘着力が弱くとも扱いやすいPPF「グロスPPF290-S75+」が新登場。伸縮性が高く、破断強度も350%に向上 (従来品:300%) しています。

サイズ：60インチ (約1520mm) ×15m
ロール販売 / 1m単位切売

TeckWrap LA

▶[販売サイト](#)

▶ペイントプロテクションフィルム (PPF)

スコッチガード™ PPF プロシリーズ 200 マット



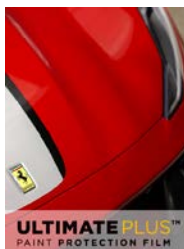
スリーエムジャパン

飛び石や擦り傷、汚れなどから塗装表面を守るプロシリーズに待望のマットタイプがついに登場。美しい艶消し感を持った200マットは、糊ずれのしにくさや位置合わせのしやすさ、高い曲面追従性はプロシリーズの特性を持ちつつ、落ち着いたマット感のある仕上がりを実現できます。72インチ (1829mm) 幅もラインアップ!

▶[公式サイト](#)

▶ペイントプロテクションフィルム (PPF)

ULTIMATE PLUS



世界のPPF市場を牽引するXPELの旗艦製品がリニューアルしました。粘着層の改良で施工性がUp! 王道PPFとして進化し続けており、また今後も新製品を続々と国内導入する予定です。PPF市場で長い歴史を持つXPELは、今年に入ってからも市場を広げ、日本でも異業種含め新たな施工者が増加中。施工技術も設備構築もサポートしますので、「これからPPFを。」という方も安心してご相談ください。

XPEL JAPAN

▶[公式サイト](#)

▶大判プリンター

HP Latexシリーズ



日本HP

カーラッピング用フィルムへの印刷にはHP Latexシリーズ。メディアを傷めない水性のLatexインクはカーラッピングに最適です。印刷直後から乾いているので乾燥時間不要、劇的な納期短縮を可能に。硬化後のインクは耐候性、抗スクラッチ性、耐擦過性、柔軟性に優れ、複雑な曲面でもひび割れることなく美しく丈夫な仕上がりを提供します。

▶[公式サイト](#)

▶ウインドウプロテクションフィルム (WPF)

DFR Pro



「依頼はあるけど難しく貼れない」「失敗してフィルムを無駄にした」…。WPFのそんな悩みを解消する熱成形不要・TPU型フィルムがFlexiShieldから新登場! TPU型の弱点である「視界の歪み」もフィルム厚の調整で大幅に改善。ぜひ一度この「扱いやすい高品質」をお試しください。

FlexiShield JAPAN

▶[公式サイト](#)

▶カラープロテクションフィルム

True Fusion



NKD JAPAN

「新車級の色味、クリアー感」、「コーティング級の撥水性」、「プロテクションフィルムの自己修復性、耐傷性」を1枚のフィルムで実現した次世代のカーラッピング商材の1つです。米テスラ社のサイバートラックでは2024年からカラーPPFがオプション化され、今後のトレンドも予想されます。ぜひ手に取って新たな商材をお試しください。

▶[公式サイト](#)

▶ペイントプロテクションフィルム (PPF)

KABUTO



特許を有する防汚性に特化した「Top層」があらゆる汚れを弾き、優れた黄変耐性により長期連続使用ができます。また、糊スレが発生しづらく作業性が良い「粘着層」は、作業時間の短縮や貼りミスの抑制をもたらす。最後はきれいに剥離することが可能。そして、「国内製造」による徹底した品質管理により安心してご使用いただけます。

スミロン

▶[公式サイト](#)

EVENT REPORT

イベントレポート

今なお業界人の注目を集めるラッピング実演 躍動させる中国PPFブランドも多数出展

国際オートアフターマーケットEXPO2024

東京ビッグサイト 3月5～7日

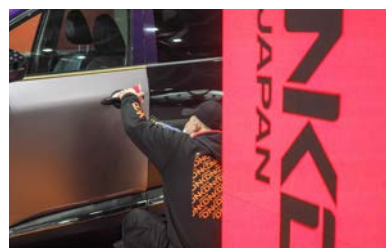
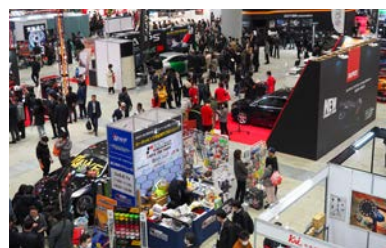
3月5～7日に東京ビッグサイトでアフターマーケットの展示会「第21回国際オートアフターマーケットEXPO2024 (IAAE)」が開催され、JCWA会員企業も数多くブース出展しました。特に多くの来場者を引き寄せたのが、展示車両へのカーラッピングの施工実演。3M (ワイエムジーワン) やRWF (デザインラボ/リンダファクトリー) といった高品質化・鮮明化する最新フィルムの数々。その魅力を、フィルム施工者をはじめカーディテリング関連の施工ショップや整備・钣金工場、ディーラーや中古車販売店、自動車メーカー関連企業にいたるまで幅広いステークホルダーに訴求しました。

商品も施工力も 勢い増す中国ブランド

今年のIAAEで多く見受けられたのが、中国をはじめとする海外企業の出展。中にはラッピングやPPFはもとよりカラーPPFやWPFまでを取り揃えるフィルムメーカーも多く、新しい製造工場を構える新興ブランドの勢い強さを感じさせました。

また、商品だけでなく施工技術のレベルの高さも窺えたのが中国NKODAの総代理店NKD JAPAN様のブース。本国の実績豊富な施工者が実演し、パーツ脱着しない中で完成度の高いカラーPPF施工を披露しました。なお、NKD JAPAN様は今般、JCWA賛助会員に新規に加盟い

ただきました。今後、協会内活動を通じてもその商品の魅力を発信していただく予定ですのでご期待ください。



メーカー横断型で実践的！ WRAP・PPF・WPFを1箇所学べます

JCWA講習会 ラッピング/ウインドウプロテクション/プロテクションフィルム

広島県しやりき 4月15～17日

4月15～17日の3日間、広島県のしやりき様にて中国地方初のJCWA講習会を実施しました。初日のラッピング、2日目のウインドウプロテクション、3日目のペイントプロテクションと全て1日完結型。単体受講はもちろん、新規導入を模索中の方には「1会場で複数メニューを学べる」と好評で、今回も全日10人以上にご参加いただきました。

また、メーカー偏らず様々なフィルム製品を横断的に扱うのもJCWA講習会の特徴。特に今回WPFでは、発売間もない「ARMORTEK (アーマーテック、販売元: エスアンドカンパニー)」も教材に導入し、ニーズが高まり製品も多様化す

るWPFに強い関心が寄せられました。

地域のハブとなる会場募集中

JCWAでは、今後も引き続き全国各地での講習会を検討しており、会場も探しています。カーラッピングもPPFもここ数年で急速に認知を高めました、少し都市圏を離れると「まだまだ普及は限定的」といった声も。そうした伸び代が大きい地域では、自社新規事業として施工内製化することももちろんですが、外注ネットワークを構築してフィルム施工の魅力を地域に発信し、潜在需要を掘り起こせる可能性もあります。地域の施工者が集まる講習会会場は、まさにそうした“フィルム事業を盛り上

げる地域のハブ”になっていただけるチャンスでもありますので、ご協力をご検討いただける方は事務局へご連絡ください。





着実に縮まる世界と日本 JCWAのビジョンとステップ

会員の皆様、こんにちは。日本カーラッピング協会会長の荻谷伊です。このたび、協会活動の活発化や会員の増加に伴い、一層の情報共有・発信を図るべく会報誌を発行することとなりました。記念すべき第1号の誌面を少し借りて、改めて協会自体やその活動の目的・理念を改めて…。

技術研鑽の機会としての競技会

当協会が発足したのは2017年。流行り始めたカーラッピングに対し、未成熟な施工品質がカーオーナーの不利益を生じさせている国内市場を是正すべく、施工ショップが手を挙げて集まったのが始まりです。そこから業界の健全な発展とそれに向けたブ口同士の情報共有を図るべく、特定のフィルムメーカーには偏重せず、施工技術の共有やイベント出展を通じた啓蒙など諸活動を手探りの中で実施。20年6月には会員限定の団体損害保険を立ち上げました。

そして、本誌でもご報告した施工技能の競技会も今や欠かせない主要活動の1つです。健全な業界に不可欠な技術の高みを目指し研鑽できる機会として、21年の全日本カーラッピング選手権（18・19年の3Mラップフィルム・ラッピングバトルの後進）開催以降、ラッピングとPPFの2種目を運営しています。特に先行して回を重ねるラッピングでは、国際大会「World Wrap Masters（WWM）」と連携して22年にWWM Japanを初開催。優勝者の川上氏を世界大会に送り込み、その年は6位、翌年には3位表彰に輝きました。JCWA発足前の国内カーラッピング市場黎明期、私が渡航先で見て衝撃を受けた“世界先端の一流の施工技術”。国内の施工技術もそれに迫る勢いで成長を遂げています。

様々な手段でさらなる情報共有・発信へ

一方で、JCWAとしては競技会は「業界発展というビジョンに向けた1ステップ」に過ぎないとも捉えています。各施工サービスのその入り口となる講習会、技術の向上やそのヒント発見を促す各競技会、そして各種活動の情報共有を図る会報誌と、こうした各種活動は、理事をはじめ会員皆様のご協力の元、着実に“形”になって参りました。JCWAではビジョンに向けて引き続き、ステップを一段ずつ登り進めていきます。

各地で実施中の講習会では、運営を担うJCWA各部に新たに今年6月、カラーPPF部門を発足しました。ラッピングとも透明PPFとも異なる開発競争が盛んな新素材。施工技術やビジネス展開の支援となる知見を講習会を中心に発信していきます。また、第3回PPF選手権を終えたばかりの競技会では、9月のWWM Japan 2024の開催準備を目下進めています。

そして、本会報誌もWWM Japan 2024後に第2号を発行予定です。号を重ねるだけにとどまらず、内容面でも広くご意見賜りながら、業界の発展に少しでも寄与できる誌面へと拡張させていきたいと考えております。

これら“1ステップ”を一段ずつ登ることが、必ずや皆様の施工技術の向上や施工事業の成長、ひいてはカーオーナー様の豊かなカーライフや車両装飾による豊かな経済活動へと繋がると信じており、また海外との差は縮まれどまだまだ日本の市場は未成熟（＝発展の余地が大きい）と見ています。そして、それには会員皆様のご協力が不可欠です。協会活動を上手く“使って”もらうと同時に、業界の健全かつ明るい未来に向けて引き続き力を合わせて共に盛り上げていきましょう。

あなたの仕事を楽しくするツールが揃っています カーラッピング用品専門プロショップ



カーラッピング
ペイントプロテクションフィルム
ウインドプロテクションフィルム

施工ツールはもちろん
フィルム資材についても
お気軽にご相談ください！

- 施工ツールカタログ無料配布中！
- 施工業者向け業販登録店様 随時募集中！
- 販売代理店様 随時募集中！

オンラインショップへ
スマホでアクセス！



登録希望の業者様はお気軽にお問い合わせくださいませ。

E mail:info-ppf@designlab.co.jp TEL:0586-89-4341

- ・ラッピングの新たな武器にドライ型カラー PPF を追加！
- ・塩ビとは違う素材特性・貼り方が理屈でわかりました。

問合せが多い WPF。失敗・ロスが多かったけど
その理由がわかって苦手意識もなくなりました！

- ・悶々と抱えていた PPF 施工の課題がクリアになりました。
- ・一連の手順が目から鱗。仕上がりの基準も明確になった！
- ・PPF 選手権で前回より良い結果を残せました。
- ・FlexiShield 認定受領！ 実務も明白に品質向上できました。

実績・理屈に裏打ちされた
施工専門店 P-Factory の技術講習

プロテクション施工のお悩み解消します。

未経験の入門としても
経験者のスキルアップでも！

受講者に応じた
個別トレーニング

グロス・マット/カラー PPF /
ウインドプロテクション/ラッピング…

メーカー・ブランド問わず
あらゆるフィルムが対象

材料フィルム支給
宿泊施設 無料付帯
講習後も継続フォロー

3日間 30万円 (税別) ~



フレックスシールド 講習



P-Factory
事業者様向け
ご案内

まずはお気軽にご相談ください
※講習は原則、弊社推奨メーカー・フィルムを
使用しますが、ご要望に応じ幅広く対応します

有限会社いのうえ

〒243-0307

神奈川県愛甲郡愛川町半原3871-2

TEL.046-211-5121

Wrapmania

TOOL & EQUIPMENT

粘着フィルム販売・施工ツール・印刷・製作加工

業販登録者募集中

登録フォームはコチラ 

DFC QUEST

VERY USEFUL
VARIOUS SOCIAL NETWORKS
FOLLOW US ON



- Rinda Factory -
Vinyl Wrap Design

make a car as an artist.



“車”の美容室

CAR BEAUTY SALON

WWW.RINDAFACTORY.COM



@rinda_f

カーラッピング&
プロテクションフィルム専門店
ラプラスデザイン

大胆にイメージチェンジ！
色褪せならリネーシング施工！

プリンター新機種導入！
大きな車面も巻き目無しで施工可能に。

姿を隠せない車のボディガード！
無色透明のプロテクションフィルム！

当店オリジナルデザインの
[LDカーボンメタリックグロス]

Before

After

時代は
「塗る」から「貼る」へ

カーラッピング&プロテクションフィルム

Film Installation



SEARCH **ラプラスデザイン** GO

TEL 024-926-0978



所在地 福島県郡山市菜根 2-9-8
E mail wrap@laplus.design
営業時間 9:00 ~ 18:00
定休日 火曜日
U R L https://laplus.design

古物商許可 第251080004232号
LINE y.t.lidl
Instagram laplus_design
Twitter @LapulusDesign
Facebook Laplus Design

3M 4-star 認定インストーラー

CWI CWI 認定インストーラー

XPPEL XPEL 認定施工店



ラジオ福島
★
静御前通り

内環状線
■ 下田ヒフ科 医院
■ 福島銀行
■ ヨーク ベニマル

3M 3M製フィルム特約販売代理店

LAPPSはあなたのパートナーです

LAPPSのサービス



商品

3M商品の在庫確保と
社内検品で高品質を
提供。



サポート

累計参加者1000名以上！
定期講習会を開催。
講習会後のフォローと、
技術・ビジネス支援カリ
キュラムの提供。



普及活動

業界の最新情報を収集
し、発信。
業界全体の発展を目指
します。



東京都墨田区
カーラッピングセンター



3M™ラップフィルムシリーズ2080
スコッチガード™ペイントプロテクションフィルム
その他カーラッピングフィルム・備品等取り扱いあり！

法人向けに業販登録受付中！

詳細はコチラ



ご登録で、業販価格での販売、定期的なキャン
ペーン情報や新製品のご案内をお届けします。



株式会社ワイエムジーワン

事業本部・カーラッピングセンター
〒130-0003 墨田区横川1-1-10すみだパークプレイスII
TEL 03-3635-1266
https://lapps.jp/
https://www.yamaga-net.co.jp/

LAPPS
LUXURY AUTOMOBILE
PROGRESSIVE PLUS STYLE

YMG1

午前中の注文でその日に発送!!

REAL CARBON WRAPPING FILM

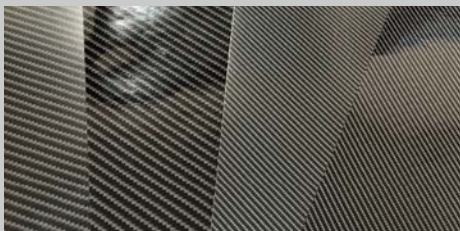
評判の人気商品! プロも認めるリアルな仕上がり!!

独自のデータ技術を駆使し、これまでにないリアル感を追求。

カーボンパターンも2種類用意し、純正カーボンパーツに対応。

デジタルインクジェットメディア AVERY DENNISON MPH1105 スーパーキャストEZRSを使用。

貼り易さもさることながら、他にはないリアルな質感が最高の仕上がりを実現します。



リアルカーボン ラッピングフィルム

左から マット(粗目)、グロス(粗目)、マット(細目)、グロス(細目)

スペック | フィルム幅 / 1480mm×~5m ※切売りOK
フィルム糊 / エアフリータイプ・長期再剥離

業販可!!

〈定価〉 1m × 1480mm 15,000円

商品の詳細や業販のご相談など、下記までお気軽にお問合せください!!



ご希望の方全員にサンプルを無料配布!! (10×10cm)

← QRコードを読み込み メール作成 をクリック! 必要事項を入力の上メールを送信してください。



〒253-0101 神奈川県高座郡寒川町倉見1755-1

ヤマックス株式会社 G-meister 事業部

TEL. 0466-21-8900 FAX. 0467-37-9210

WEBからカンタン注文!!
<http://www.g-meister.net>



JCWA NEWSLETTER

掲載広告 募集中

- ✔ 年3回発行! ※予定
- ✔ 70社超の協会員に配布
- ✔ 単号からご出稿できます
複数号掲載割引もご用意!

料金など詳細は事務局まで
お問い合わせください。

一般社団法人日本カーラッピング協会 事務局
E-mail : info@jcwa.gr.jp
TEL : 03-6277-3291